

## 耳鼻科のこの一年

耳鼻咽喉科医長 齋藤 滋

この一年間を振り返りますと変わったことといえば・・・

- 1.内視鏡システムとしてNB Iで観察できるものを導入しました。悪性腫瘍の早期発見に欠かせません。役に立つ日は無いほうが良いですが、きっとあると思います。
- 2.手術件数は減りました。平成22年度は増えるよう頑張ります。

以下に手術の内訳を載せます。括弧内は平成20年—平成19年の統計です。

私個人的には、涙目の治療については自信を持ってお勧めできますので、困っている方がいれば紹介していただければ、幸いです。

平成21年手術集計		喉頭摘出術	0-(1-0)
アデノイド切除術	6-(12-12)	甲状腺片葉切除	6-(4-3)
口蓋扁桃摘出術	11-(17-27)	鼻内内視鏡手術	8-(7-21)
鼓膜チューブ留置術	45-(64-43)	鼻中隔矯正術	7-(8-11)
ラリンゴマイクロサージャリー	7-(8-1)	耳瘻孔摘出術	2-(0-1)
鼓膜形成術	7-(1-2)	深頸部膿瘍切開排膿術	0-(1-3)
下甲介粘膜切除術	7-(1-3)	鼻骨骨折整復固定術	0-(3-6)
顔面骨折整復固定術	0-(2-3)	眼窩吹き抜け骨折整復固定術	4-(1-2)
顔面神経減荷術	0-(0-1)	耳下腺・顎下腺腫瘍摘出術	0-(5-2)
気管切開術	2-(0-1)	NSチューブ留置術	2-(4-2)
鼓室形成術	4-(3-3)	内視鏡下涙嚢鼻腔吻合術	0-(6-8)
		その他	0-(4-2)
		リンパ管腫ピシバニール注入	0-(2-2)